

平成31年度

「運営に関する計画」

大阪市立大江小学校

平成31年4月

大阪市立大江小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、明治7年(1874年)に創立され、創設145年を超える歴史と伝統のある学校である。親子三代以上に渡って本校に通う地域の方も多く、保護者や地域の方々にとっても、本校に対する期待と誇りは非常に大きなものがある。長い歴史と受けつがれた伝統を引き継ぎつつ、一方で、新たな実践を取り入れながら、未来を生き抜く子どもたちのために教育活動を展開している。

本校の児童の規範意識は高く、きまりや規則を守って生活しようと努力する態度が見られる。また、相手のことを考えた発言や行動ができる児童が多いのも本校の特長である。万一、相手を傷つけてしまったときには、指導を素直に受け入れ、いじめの問題にきちんと向き合い解消しようとする気持ちが育っている。学力は比較的高く、真剣に授業を受ける姿が常に見られる。

このような児童の素直な態度や教育の水準の高さを、今後も継続し現状を維持していくことが本校に求められる課題である。保護者・地域との連携を図りながら、児童の「生きる力」の育成と主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教育活動全般を通して、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の伸長、豊かな心や健やかな体の成長の促進に努める。

中期目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 校内の学習アンケートにおいて「学校で学習するのが好きで自分から進んでやる。」や「授業の内容は、自分ではよくわかっている」という授業の内容についての子どもたちの意見について、肯定的に回答する児童の割合を向上させる。(マネジメント改革)
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざし、授業を展開する。(カリキュラム改革)
 - ・経年調査国語の「書く能力」「読む能力」「話す・聞く能力」の観点で、大阪市の平均値を2ポイント以上上回るようにする。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - ・「家庭で学習することができている」と答える児童の割合を前年度水準より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 「全国体力・運動習慣等調査」
 - ・20mシャトルラン・反復横とび・長座体前屈(男女)、50m走・立ち幅とび(男子)の平均を全国水準とする。(カリキュラム改革関連)
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身についている」と答える児童の割合を毎年、向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - ・「運動に親しむことができています」と答える児童の割合を毎年、向上させる。(カリキュラム改革関連)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙「学校のきまりを守る」や「いじめはどんな理由があってもいけない」に関する項目で「当てはまる」と答える児童の割合を、全国水準とする。(カリキュラム改革関連)
- 「本校の教育に関するアンケート」
 - 「まわりの人にやさしく、一人でぼつんという子がいないように」で、「そう思わない+あまりそう思わない」と答える児童の割合を前年度水準より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- 互いのちがいを認め合い、共に学び、共に育ち、共に生きる集団を育成していくために、「たてわり班活動」や「多様な体験を伴う活動」を前年度水準より充実させる。(カリキュラム改革関連)

大阪市立大江小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む) ※運営に関する計画再掲**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】****学校園の年度目標**

- ①校内の学習アンケートにおいて、「学校で学習するのが好きで、自分から進んで取り組んでいる」、「授業の内容は、自分ではよく分かっている」において、「そう思う」「ややそう思う」と答える児童の割合を昨年度と同等または向上させる。 (マネジメント改革関連)
- ②児童が課題を見つけ、お互いに協力し主体的に解決していく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。 (カリキュラム改革関連)
- ③「本校の教育に関するアンケート」で、「運動に親しむことができている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ④「本校の教育に関するアンケート」で、「健康な生活習慣を身につけようと心がけている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ⑤長座体前屈の記録を春のスポーツテストの記録より、2学期末には1ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)

全市共通目標 (小・中学校)

- ①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- ②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ③小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ④「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤全国体力・運動能力、運動習慣等調査における長座体前屈の記録を、前年度より1ポイント向上させる。

【子どもが安心して成長できる安全な社会 (学校園・家庭・地域) の実現】**学校園の年度目標**

- ①校内の学習アンケートにおいて、「学校で学習するのが好きで、自分から進んで取り組んでいる」、「授業の内容は、自分ではよく分かっている」において、「そう思う」「ややそう思う」と答える児童の割合を昨年度と同等または向上させる。 (マネジメント改革関連)
- ②児童が課題を見つけ、お互いに協力し主体的に解決していく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。 (カリキュラム改革関連)
- ③「本校の教育に関するアンケート」で、「運動に親しむことができている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ④「本校の教育に関するアンケート」で、「健康な生活習慣を身につけようと心がけている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ⑤長座体前屈の記録を春のスポーツテストの記録より、2学期末には1ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)

大阪市立大江小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

全市共通目標 (小・中学校)

- ①平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ②平成31年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか。」の項目について「当てはまる、どちらかといえばあてはまる。」と答える児童の割合を85%以上にする。
- ③平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- ④平成31年度末の校内調査において、あらたに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。年度末の校内調査により学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。

本年度の自己評価結果の総括

大阪市立大江小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 ① 校内の学習アンケートにおいて、「学校で学習するのが好きで、自分から進んで取り組んでいる」、「授業の内容は、自分ではよく分かっている」において、「そう思う」「ややそう思う」と答える児童の割合を昨年度と同等または向上させる。 (マネジメント改革関連) ② 児童が課題を見つけ、お互いに協力し主体的に解決していく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。 (カリキュラム改革関連) ③ 「本校の教育に関するアンケート」で、「運動に親しむことができている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ④ 「本校の教育に関するアンケート」で、「健康な生活習慣を身につけようと心がけている」という項目で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ⑤ 長座体前屈の記録を春のスポーツテストの記録より、2学期末には1ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連) 【全市共通目標】 ① 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。 ② 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ③ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ④ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ⑤ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における長座体前屈の記録を、前年度より1ポイント向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【言語力や論理的思考能力の育成】 課題を見つけ、互いに意見交換する中で主体的に解決を図っていく「主体的・対話的な深い学び」を積極的に取り入れる。	
指標 校内の学習アンケートを実施し、「積極的に意見が言えた」「友達の意見をしっかりと聞いた」と答える児童の割合を75%以上にする。	
取組内容②【習熟度別少人数指導をはじめとする個に応じた指導の充実】 特に習熟の度合いの低い児童にきめ細かい指導を行うために、習熟度別少人数指導コーディネーターや特別支援教育担当、学級担任が指導法について話し合い、児童が達成感や成就感を味わえるような指導を進めていく。	
指標 校内の学習アンケートを実施し、「学習内容がわかる」と答える児童の割合を70%以上にする。	

取組内容③【体力向上への支援・体育的活動の充実】 児童集会で、運動委員会を中心に楽しく運動に取り組めるようにし、体を動かす喜びを味わえるようにする。	
指標 校内の学習アンケートを実施し、「体育授業の他に1日1回以上、運動場や講堂で運動している」と答える児童の割合を70%以上にする。	
取組内容④【健康な生活習慣の確立】 給食後に歯みがきをするようにする。	
指標 給食後に、歯みがきをしている児童の割合を70%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
Empty space for analysis	

大阪市立大江小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 ①「本校の教育に関する児童アンケート」で、「人それぞれ違いがあり、いろんな友達と一緒に学ぶことでいい友達関係ができている」と好意的な回答をする児童の割合を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ②「本校の教育に保護者間アンケート」で、「なかまを大切に作る心が育ってきている」という設問に対して肯定的な回答の割合を85%以上にする。 (カリキュラム・ガバナンス改革関連) ③「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙の「学校のきまりを守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」に関する項目で肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ④集団育成や児童理解の深化に向けて、人権教育や特別支援教育等の研修会を昨年度に引き続き充実させる。 (マネジメント改革関連) 【全市共通目標】 ①平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ②平成31年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか。」の項目について「当てはまる、どちらかといえばあてはまる。」と答える児童の割合を85%以上にする。 ③平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ④平成31年度末の校内調査において、あらたに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 年度末の校内調査により学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳心・社会性の育成】 様々な活動で他者とのかかわりを深めることにより、自尊感情を育むことができるようにする。 指標 児童アンケートの自尊感情に関する項目において、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【規範意識の育成】 右側歩行ができるようにする。 指標 日常から全校集会や学級で意識づけを目的とした指導を行うとともに、児童アンケートの規範意識に関する項目において、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。	
取組内容③【人権を尊重する教育の推進・生活指導上の課題への対応】 児童理解を深めるために、人権についての研修会を定期的にもつとともに、情報交流の場を設け、全教職員で共通理解を図る。 指標 職員会議の後、学級の実態を報告し合い共通理解していく。必要があれば生指部会を開く。特別支援研修会を年2回実施し、人権教育研修会に年1回以上参加する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析